

平成 28 年度 秋期
IT ストラテジスト試験
午前 II 問題

試験時間 10:50 ~ 11:30 (40 分)

注意事項

- 試験開始及び終了は、監督員の時計が基準です。監督員の指示に従ってください。
試験時間中は、退室できません。
- 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いて中を見てはいけません。
- 答案用紙への受験番号などの記入は、試験開始の合図があってから始めてください。
- 問題は、次の表に従って解答してください。

問題番号	問 1 ~ 問 25
選択方法	全問必須

- 答案用紙の記入に当たっては、次の指示に従ってください。
 - 答案用紙は光学式読み取り装置で読み取った上で採点しますので、B 又は HB の黒鉛筆で答案用紙のマークの記入方法のとおりマークしてください。マークの濃度がうすいなど、マークの記入方法のとおり正しくマークされていない場合は、読み取れません。特にシャープペンシルを使用する際には、マークの濃度に十分ご注意ください。訂正の場合は、あとが残らないように消しゴムできれいに消し、消しきずを残さないでください。
 - 受験番号欄に受験番号を、生年月日欄に受験票の生年月日を記入及びマークしてください。答案用紙のマークの記入方法のとおり記入及びマークされていない場合は、採点されないことがあります。生年月日欄については、受験票の生年月日を訂正した場合でも、訂正前の生年月日を記入及びマークしてください。
 - 解答は、次の例題にならって、解答欄に一つだけマークしてください。答案用紙のマークの記入方法のとおりマークされていない場合は、採点されません。

[例題] 秋の情報処理技術者試験が実施される月はどれか。

ア 8 イ 9 ウ 10 エ 11

正しい答えは“ウ 10”ですから、次のようにマークしてください。

例題	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
----	-----------------------	----------------------------------	-----------------------	-----------------------

注意事項は問題冊子の裏表紙に続きます。
 こちら側から裏返して、必ず読んでください。

問題文中で共通に使用される表記ルール

各問題文中に注記がない限り、次の表記ルールが適用されているものとする。

試験問題での表記	規格・標準の名称
JIS Q 9001	JIS Q 9001:2015
JIS Q 14001	JIS Q 14001:2015
JIS Q 15001	JIS Q 15001:2006
JIS Q 20000-1	JIS Q 20000-1:2012
JIS Q 20000-2	JIS Q 20000-2:2013
JIS Q 27000	JIS Q 27000:2014
JIS Q 27001	JIS Q 27001:2014
JIS Q 27002	JIS Q 27002:2014
JIS X 0160	JIS X 0160:2012
ISO 21500	ISO 21500:2012
ITIL	ITIL 2011 edition
PMBOK	PMBOK ガイド 第5版
共通フレーム	共通フレーム 2013

問1 エンタープライズアーキテクチャ (EA) のビジネスアーキテクチャで機能情報関連図 (DFD) を作成する目的はどれか。

- ア 業務・システムの機能と情報の流れを明確にする。
- イ 業務・システムの目的・機能、情報システムの管理・運用体制を明確にする。
- ウ 情報システム間でやり取りされる情報の種類と方向を明確にする。
- エ 物理的なデータ構造を明確にする。

問2 SCOR (Supply Chain Operations Reference model) で定義している SCM に関する実行プロセスのうち、自社にとっての Source に当たるものはどれか。

- | | |
|--------------|--------------------|
| ア 資材などの購入 | イ 受注と納入 |
| ウ 納入後に発生する作業 | エ プロダクトの生産、サービスの実施 |

問3 レコメンデーション（お勧め商品の提案）の例のうち、協調フィルタリングを用いたものはどれか。

- ア カテゴリ別に売れ筋商品のランキングを自動抽出し、リアルタイムで売れ筋情報を発信する。
- イ 顧客情報から、年齢、性別などの人口動態変数を用い、“20代男性”，“30代女性”などにセグメント化した上で、各セグメント向けの商品を提示する。
- ウ 顧客同士の購買行動の類似性を相関分析などによって求め、顧客Aに類似した顧客Bが購入している商品を顧客Aに勧める。
- エ 野球のバットを購入した人に野球のボールを勧めるなどあらかじめ用意されたルールに基づいて、関連商品を提示する。

問4 IT 投資案件において、投資効果を PBP (Pay Back Period) で評価する。投資額が500 のとき、期待できるキャッシュフローの四つのシナリオ a～d のうち、PBP の効果が最も高いものはどれか。

a	年目	1	2	3	4	5
	キャッシュフロー	100	150	200	250	300

b	年目	1	2	3	4	5
	キャッシュフロー	100	200	300	200	100

c	年目	1	2	3	4	5
	キャッシュフロー	200	150	100	150	200

d	年目	1	2	3	4	5
	キャッシュフロー	300	200	100	50	50

ア a

イ b

ウ c

エ d

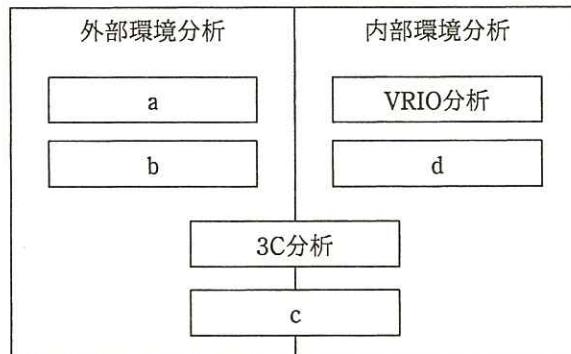
問5 情報システムの全体計画立案のためにE-Rモデルを用いて全社のデータモデルを作成する手順はどれか。

- ア 管理層の業務から機能を抽出し、機能をエンティティとする。次に、機能の相互関係に基づいてリレーションシップを定義する。さらに、全社の帳票類を調査して整理し、正規化された項目に基づいて属性を定義し、全社のデータモデルとする。
- イ 企業の全体像を把握するために、主要なエンティティだけを抽出し、それらの相互間のリレーションシップを含めて、鳥瞰図を作成する。次に、エンティティを詳細化し、全てのリレーションシップを明確にしたものを作成する。
- ウ 業務層の現状システムを分析し、エンティティとリレーションシップを抽出する。それぞれについて適切な属性を定め、これらを基にE-R図を作成し、それを抽象化して、全社のデータモデルを作成する。
- エ 全社のデータとその処理過程を分析し、重要な処理を行っている業務を基本エンティティとする。次に、基本エンティティ相互のデータの流れをリレーションシップとして捉え、適切な識別名を与える。さらに、基本エンティティと関係があるデータを属性とし、全社のデータモデルを作成する。

問6 LBOの説明はどれか。

- ア 株式市場で一般株主に対して、一定期間に一定の価格で株式を買い付けることを公告し、相手先企業の株式を取得する。
- イ 現経営陣や事業部門の責任者が株主から自社の株式を譲り受けることによって、当該事業の経営権を取得する。
- ウ 投資会社が、業績不振などの問題を抱えた企業の株式の過半数を取得した上で、マネジメントチームを派遣し、経営に参画する。
- エ 買収先企業の資産などを担保に、金融機関から資金を調達するなどして、限られた資金で企業を買収する。

問7 環境分析の代表的なフレームワークについて、外部環境を分析するものと内部環境を分析するもので整理した図のcに当てはまるものはどれか。ここで、ア～エはa～dのいずれかに対応する。



- ア PEST分析
ウ バリューチェーン分析

- イ SWOT分析
エ ファイブフォース分析

問8 コアコンピタンスに該当するものはどれか。

- ア 主な事業ドメインの高い成長率
イ 競合他社よりも効率性が高い生産システム
ウ 参入を予定している事業分野の競合状況
エ 収益性が高い事業分野での市場シェア

問9 ブルーオーシャン戦略の特徴はどれか。

- ア 價値を高めながらコストを押し下げる。
イ 既存の市場で競争する。
ウ 既存の需要を喚起する。
エ 競合他社を打ち負かす。

問10 FSP (Frequent Shoppers Program) の説明はどれか。

- ア Web サイトの閲覧者が掲載広告のリンク先である EC サイトで商品を購入した場合、広告主からその Web サイト運営者に成果報酬を支払う仕組みである。
- イ 期間を限定した値引きの販売施策を見直し、コスト削減によるローコストオペレーションを実現させて、恒常的な低価格戦略を展開することである。
- ウ 顧客に会員カードなどを発行して購買情報を収集し、顧客には割引ポイントの付与や会員割引の特典を与えるなど、優良顧客の維持拡大を図る仕組みである。
- エ 顧客の購買行動における、直近購買日、購買頻度、購買金額の 3 要素を用いて、優良顧客のセグメンテーションなどを行う顧客分析手法のことである。

問11 消費者市場のセグメンテーション変数のうち、行動的変数はどれか。

- | | |
|----------------|---------------|
| ア 社会階層、ライフスタイル | イ 使用頻度、ロイヤルティ |
| ウ 都市規模、人口密度 | エ 年齢、職業 |

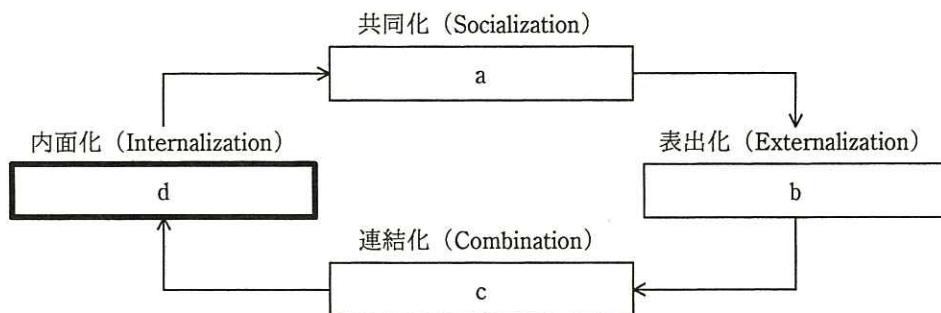
問12 ジェフリー・A・ムーアはキャズム理論において、利用者の行動様式に変化を強い
るハイテク製品では、イノベータ理論の五つの採用者区分の間に断絶があると主張
し、その中でも特に乗り越えるのが困難な深く大きな溝を“キャズム”と呼んでい
る。“キャズム”が存在する場所はどれか。

- ア イノベータとアーリーアダプタの間
- イ アーリーアダプタとアーリーマジョリティの間
- ウ アーリーマジョリティとレイトマジョリティの間
- エ レイトマジョリティとラガードの間

問13 経営戦略に用いる CSF 分析で明らかになるものはどれか。

- ア 業界内の競争に影響する要因と、自社の強み
- イ 競争環境の脅威と機会、企業の強み・弱み
- ウ 成功するための重要な機能や特性
- エ 保有する事業の成長性と収益性

問14 図は、SECI モデルの知識変換プロセスに基づき、製造現場において、熟練工の技能を若手技能者に伝承する例を示したものである。d に該当する活動はどれか。ここで、ア～エは、a～d のいずれかに該当する。



- ア 現場作業や OJT を通じて、熟練工と若手技能者間において製造のための知識や課題を確認するとともに、文書化されていない技能の存在を認識する。
- イ 熟練工がもつ技能のうち、文章、図表、数式によって表現が可能なものを熟練工と若手技能者間において確認しながら作業手順書などの文書にまとめる。
- ウ 若手技能者が、得られた知識をデータベースに記録し、これらを整理・分類し、組み合わせることによって、新しい作業手順を生み出す。
- エ 若手技能者が、得られた知識を基に実際の作業を繰り返し経験することによって、知識を自分の技能として体得する。

問15 特許を分析して生まれた問題解決技法であり、問題（矛盾）を創造的・発明的に解決するための弁証法的な思考法を具体的な方法論にまとめたものはどれか。

ア QFD

イ TRIZ

ウ シックスシグマ

エ 親和図法

問16 XBRL を説明したものはどれか。

ア 企業内又は企業間で使用される複数の業務システムを連携させることであり、データやビジネスプロセスの効率的な統合が可能となる。

イ 小売店の端末からネットワーク経由で発注を行うことによって、迅速かつ正確な発注作業が実現でき、リードタイムの短縮や受発注業務の効率向上が可能となる。

ウ 財務報告用の情報の作成・流通・利用ができるように標準化した言語であり、適用業務パッケージやプラットフォームに依存せずに財務情報の利用が可能となる。

エ 通信プロトコルやデータフォーマットの標準的な規約を定めることによって、企業間での受発注、決済、入出荷などの情報の電子的な交換が可能となる。

問17 ボランタリーチェーンを説明したものはどれか。

- ア 加盟店が一定のロイヤルティを本部に支払って、本部の経営ノウハウ、商標、サービスマークなどを用いて販売活動を行う。
- イ 生産者・卸売業者・小売業者の間で、購買、生産、販売及び物流の一連の業務を全体最適の視点から見直し、納期短縮や在庫削減を図る。
- ウ 複数の小売業者が独立性を維持しながら、一つのグループとして、仕入れ、宣伝、販売促進などを共同で行う。
- エ 本部が複数店舗の仕入れを一括して行い、各店舗は本部の経営方針に基づいた販売活動に専念する。

問18 TOC の特徴はどれか。

- ア 個々の工程を個別に最適化することによって、生産工程全体を最適化する。
- イ 市場の需要が供給能力を下回っている場合に有効な理論である。
- ウ スループット（＝売上高－資材費）の増大を最重要視する。
- エ 生産プロセス改善のための総投資額を制約条件として確立された理論である。

問19 BCM (Business Continuity Management) において考慮すべきレジリエンスの説明はどれか。

- ア 競争力の源泉となる、他社に真似のできない自社固有の強み
- イ 想定される全てのリスクを回避して事業継続を行う方針
- ウ 大規模災害などの発生時に事業の継続を可能とするために事前に策定する計画
- エ 不測の事態が生じた場合の組織的対応力や、支障が生じた事業を復元させる力

問20 コンピテンシモデルの説明はどれか。

- ア 権限行使と命令統制による労務管理を批判し、目標管理制度や経営参加制度などによる動機付けが有効であるとしたもの
- イ 最適なリーダーシップの唯一のスタイルは存在せず、望ましいリーダーシップのスタイルは、状況に応じて異なるとしたもの
- ウ 人材の評価や育成の基準とするために、恒常的に成果に結び付けることができる個人の行動や思考特性を定義したもの
- エ 人間の基本的欲求を低次から、生理的欲求、安全の欲求、所属と愛の欲求、承認の欲求、自己実現の欲求としたもの

問21 人事考課の際、考課者が陥りやすい傾向の説明のうち、ハロー効果を説明したものはどれか。

- ア 考課者の自信欠如や個人的感情から、評価が甘くなってしまうこと
- イ 事実を確認せずに、論理的に関係がある項目に対して同等の評価をすること
- ウ 評価項目の一部が飛び抜けて高いと、他の項目も根拠なく高評価になること
- エ 部下の勤務状況を十分に把握していないので、評価が標準に集中してしまうこと

問22 次の条件において A 社の連結損益計算書を作成した場合の連結売上高は何億円か。

[条件]

- ・ A 社は、B 社の株式の 80% を取得している。
- ・ B 社は、C 社の株式の 60% を取得している。
- ・ B 社は、D 社の株式の 20% を取得している。ただし、役員の派遣などはない。
- ・ A 社の売上高は、7,000 億円であり、その 10% は、B 社に対するものである。
- ・ B 社の売上高は、3,500 億円であり、その 20% は、D 社に対するものである。
- ・ C 社の売上高は、2,500 億円である。
- ・ D 社の売上高は、2,000 億円である。
- ・ A 社と B 社、B 社と D 社以外の相互間取引はない。

ア 12,300

イ 13,000

ウ 13,600

エ 14,300

問23 ソフトウェア開発を下請事業者に委託する場合、下請代金支払遅延等防止法に照らして、禁止されている行為はどれか。

- ア 繼続的な取引が行われているので、支払条件、支払期日等を記載した書面をあらかじめ交付し、個々の発注書面にはその事項の記載を省略する。
- イ 顧客が求める仕様が確定していなかったので、発注の際に、下請事業者に仕様が未記載の書面を交付し、仕様が確定した時点では、内容を書面ではなく口頭で伝えた。
- ウ 顧客の都合で、仕様変更の必要が生じたので、下請事業者と協議の上、発生する費用の増加分を下請代金に加算することで仕様変更に応じてもらう。
- エ 振込手数料を下請事業者が負担する旨を発注前に書面で合意したので、親事業者が負担した実費の範囲内で振込手数料を差し引いて下請代金を支払う。

問24 シングルサインオンの実装方式の特徴のうち、適切なものはどれか。

- ア クッキーを使ったシングルサインオンの場合、サーバごとの認証情報を含んだクッキーをクライアントで生成し、各サーバ上で保存、管理する。
- イ クッキーを使ったシングルサインオンの場合、認証対象のサーバを、異なるインターネットドメインに配置する必要がある。
- ウ リバースプロキシを使ったシングルサインオンの場合、認証対象の Web サーバを、異なるインターネットドメインに配置する必要がある。
- エ リバースプロキシを使ったシングルサインオンの場合、利用者認証においてパスワードの代わりにデジタル証明書を用いることができる。

問25 無線 LAN のセキュリティ方式として WPA2 を選択するとき、利用される暗号化アルゴリズムはどれか。

ア AES

イ ECC

ウ RC4

エ RSA

[メモ用紙]

[メモ用紙]

6. 問題に関する質問にはお答えできません。文意どおり解釈してください。
7. 問題冊子の余白などは、適宜利用して構いません。ただし、問題冊子を切り離して利用することはできません。
8. 試験時間中、机上に置けるものは、次のものに限ります。
なお、会場での貸出しは行っていません。
受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル（B 又は HB）、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計（時計型ウェアラブル端末は除く。アラームなど時計以外の機能は使用不可）、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬
これら以外は机上に置けません。使用もできません。
9. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ることができます。
10. 答案用紙は、いかなる場合でも提出してください。回収時に提出しない場合は、採点されません。
11. 試験時間中にトイレへ行きたくなったり、気分が悪くなったりした場合は、手を挙げて監督員に合図してください。
12. 午後 I の試験開始は 12:30 ですので、12:10 までに着席してください。

試験問題に記載されている会社名又は製品名は、それぞれ各社又は各組織の商標又は登録商標です。

なお、試験問題では、TM 及び [®] を明記していません。